

地域が守り

公共交通ニュース vol. 11 2013. 10. 28

地域が育てる

公共交通利用しましょう

本市の公共交通は、鉄道が2社（JR、西武鉄道）、路線バスが3社（国際興業バス、西武バス、イーグルバス）運行しており、他の自治体と比べ充実しています。

また、鉄道、路線バスは飯能駅を中心に各地区を運行するとともに、飯能駅周辺には、丸広百貨店をはじめとする商業施設や商店街、医療機関などが集積していることから、電車やバスを使えば、買物、通院に大変便利となっています。

公共施設へも飯能駅からバスに乗り、市役所へは、国際興業バス（市営住宅方面行きのバスで「市役所前」バス停下車）、市立図書館へは、国際興業バス（こまニュータウン方面または埼玉医大方面行きのバスで「天覧山入口」バス停下車）、宮沢湖への温泉施設へは、イーグルバス（ひだか団地または高萩駅方面行きのバスで「宮沢湖」または「宮沢湖温泉」下車）で行くことができます。その他、飯能市市民会館、第二区地区行政センター、さわらびの湯、加治地区行政センター、各福祉センター、各高等学校、埼玉医大などにも路線バスが運行しています。

路線バスや鉄道は移動のための手段というだけでなく、バス停や駅まで、歩くことを通して、健康づくりに役立つなどのメリットがあります。健康づくり、または、ダイエットのために運動する時間がないと考える方にとって、公共交通を利用することは、生活の中に自然に溶け込む「運動の時間」となります。

夏の暑さも終わり、歩きやすい季節になりました。「スポーツの秋」に、公共交通の利用を取り入れてみませんか。なお、路線図、時刻表は各社のHPまたは市HPをご覧ください。



飯能の「秋」をバスで巡りませんか？

紅葉シーズンになりました。秋は様々な場所でイベントが開催されます。バスに乗り、地区ごとの紅葉の景色を鑑賞してみませんか？

●名栗地区では、白雲山鳥居観音で「なぐり紅葉まつり」が11月10日（日）（時間：10時～15時）に開催されます。燃えるような真っ赤なもみじと白亜の觀音様の鮮やかなコントラストがお楽しみいただけます。紅葉の鑑賞は11月上旬から下旬がお薦めです。会場までは、国際興業バスで名栗車庫、名郷、湯の沢方面行（飯能駅北口2番乗り場）に乗車いただき、「連慶橋」バス停で下車してください。



●南高麗地区では秋のお散歩マーケットが11月17日（日）（時間：9時～15時）に開催されます。山間の集落にある黒指・細田地区で、家の軒先に季節の農作物や手づくり品が並べられ、山道を歩きながら買い物や地区の方々とのふれあいを楽しむイベントです。国際興業バスで「間野黒指行き」（飯能駅北口1番乗り場）に乗車いただき、終点「間野黒指」で下車してください。（駐車場はありません。）



※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所市民生活部交通政策担当

春は「アド街」で紹介されました。

地域がまもり

公共交通ニュース vol. 12 2013. 11. 22

地域が育てる

路線バスの必要性

路線バスは、利用者の減少から路線を維持確保していくことが大変厳しい状況にあり、全国では、毎年2,000kmの路線が廃止されています。利用者が減少している路線バスですが、なぜ必要なのでしょうか。

路線バスは、自家用車などの移動手段を持たない、児童・生徒や高齢者にとって大切な交通手段です。また、普段は自家用車を利用している方にとっても、飲酒の機会や悪天候のとき、自家用車が故障したとき、などの代替の交通手段となります。さらに、将来、高齢者になり自家用車の運転ができなくなったときは、路線バスをはじめとする公共交通がないと移動が制限されてしまいます。

路線バスがないと高校に通うことができない、買物に行くことができない、となると地域での生活ができないことから転出される方も出てくるかもしれません。転出者が多くなると地域のコミュニティを形成することも難しくなります。



路線バスは単なる移動手段ということだけでなく、地域を活性化していくための重要なライフラインの役割を担っています。

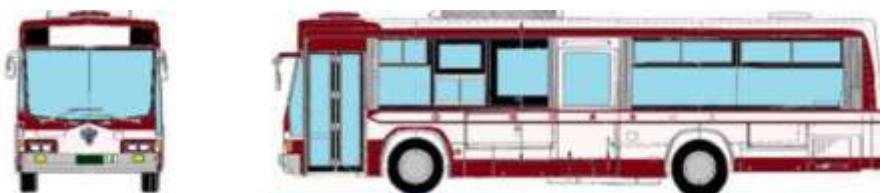
地域での生活を現在、また将来に渡って継続していくためにも、路線バスを維持していくことが必要です。

国際興業バス、旧塗装車を復刻します

国際興業バスでは、1950年（昭和25年）に東都乗合自動車を合併して国際興業バスが誕生した際に採用された、ライトパープルとマルーンの2色を配した車両を1台復刻し、12月から飯能営業所管内を運行します。このデザインの車両は、1950年（昭和25年）～1960年（昭和35年）頃まで運行されていたとのことで、黄緑色を基調とした現在のバスとはイメージが異なると思います。また、長年親しまれてきました白地に薄い緑の塗装車も最後の1台が11月に廃車となり、復刻車がさいたま市内を運行しています。

なお、この復刻車内におきまして「写真でたどる飯能市の60年」の特別展示を行います。ぜひ、このバスをご利用いただき、レトロな気分を味わってください。

【イメージ図】



国際興業バスまつり

国際興業バスまつり2013（入場無料）が12月1日（日）（10時～15時）にさいたま東営業所（さいたま市緑区上野田629-15）で開催されます。会場では、バス洗車機体験やバスの綱引き、バス乗り方教室などを行います。また本市の観光案内や名栗地区の名産販売もします。さらに復刻車のご披露も行います。

ご家族、お友達お誘いのうえ、お越しください。

詳しくは、国際興業バスホームページをご確認ください。



ぼくも参加します。

※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所市民生活部交通政策担当

地域がまもり

地域が育てる

路線バスの必要性2

路線バスは地域の方々や来訪者の重要な移動手段というだけでなく、地域にとって重要な役割を持っています。

バスに乗れば、地域の人たちがどんな生活を送っていて、どんな表情をしているかが見えます。また、四季の移り変わりを発見することもできます。

まちなかの賑わいを演出する役割もしています。まちの賑やかさは車の数ではなく、歩いている人の数で判断されます。バスでは、バス停で人が待つし、バス停で降り、目的の場所まで歩きます。

車では行きたい場所の近くまでは行きますが、ほとんど歩きません。

車に依存したライフスタイルでは、人と人、人と地域、人と季節との「交流」が失われていきます。

毎日でなくても構いません。週1回、月1回、路線バスを利用して、車での移動では気づかなかつた新しいことを発見してみてください。



車窓から見る懐かしの風景

12月7日から国際興業バスが誕生したときに採用されたカラーのバスが、飯能市・日高市内を運行しています。そのバスの車内では、「写真でたどる飯能市の60年（特別展）～車窓から見る懐かしの風景～」と題して、国際興業バスが本市を運行する前の“名栗交通”時代の写真やボンネットバス“さわらび号”的写真、昔の飯能駅や東飯能駅、



“南高麗線バス開通記念”といった写真を展示しています。

それぞれの写真に「いつ頃の写真、どのバス停付近の写真」といった説明をしていますので、現在の風景と見比べることができます。

特別展は、3月末まで開催します。この機会に、ぜひ、このバスにご乗車いただき、写真をご覧ください。

このバスは、運行の都合から平日は不定期に運行していますが、土日祝日の運行ダイヤは公開しています。

国際興業バスホームページをご確認ください。

【<http://5931bus-pr.blogspot.jp/2013/12/pr.html>】

「さわらび号」(平成10年)

広小路を走る名栗バス（昭和31年）



※公共交通ニュースは市ホームページ及び地区行政センターでご覧いただけます。

飯能市役所市民生活部交通政策担当

地域がまもり

公共交通ニュース vol. 14 2014.2.12

地域が育てる

今年もひな飾り展限定「名栗地区周遊券」を販売します。

“ひな咲くまち”**飯能ひな飾り展**が2月18日（火）～3月9日（日）まで市内各所で開催されます。名栗地区では、昨年に引き続き、バスでひな飾り展を巡るために便利な**「名栗地区バス周遊券」**を販売します。

「名栗地区周遊券」は、飯能駅北口から名郷バス停を通用区間とし、飯能駅から黒指バス停までの間は1往復のみ乗車となりますが、黒指～名郷間は乗り降り自由となっています。料金は、1,300円（子ども価格はありません）で、利用当日に購入していただき、当日限り有効となっています。



周遊券は、飯能商工会議所、国際興業バス飯能営業所で期間中販売し、土日は国際興業バス飯能駅北口案内所前での販売も予定しています。周遊券購入の方限定の粗品も用意しています。この機会に、周遊券で名栗のひな飾りをご覧いただき、さらに名栗地区の観光をお楽しみください。2/20、3/3には名栗ひなめぐりエコツアーもあります。

名栗地区のひな飾り展は次の13カ所開催します。

《名栗地区ひな飾り展》

►西山荘笑美亭、coffee 紗蔵（以上、名郷バス停）、古民家柏木分家（柏木橋バス停）、喫茶&ギャラリー 名栗の杜（森河原バス停）、古民家ひらぬま（宮の平バス停）、白雲山 鳥居觀音（連慶橋バス停）、名栗カヌー工房、レイクサイドテラス名栗湖、さわらびの湯、やませみ（以上、さわらびの湯バス停）、山雀亭（四海橋バス停）、大松閣、café&gallery ハミング（以上 名栗川橋バス停）



《モデルコース（土・日）》

飯能駅（9:20発）**バス** 柏木橋（10:10着）**徒歩** 森河原（12:08発）**バス** 宮の平（12:12着）**徒歩** さわらびの湯（15:16発）**バス** 四海橋（15:18着）**徒歩** 名栗川橋（16:56発）**バス** 飯能駅（17:38着）※バス乗車賃1,700円のところ周遊券は1,300円です。
◎バス時刻表は国際興業バスHP、市HPを、モデルコースは市HPでもご覧いただけます。

飯能市地域公共交通基本計画（案）を公表します。

現在そして将来にわたって地域での生活を支え、暮らしを維持していくためには、地域公共交通の維持確保により、市民の「おでかけ」を守ることが求められています。市・交通事業者・地域（市民）が一体となって、「おでかけ」を守るための基本方針や基本目標を定めた「飯能市地域公共交通基本計画」の案がまとまり、施設等で公表し、計画案に対するご意見を募集します。ぜひご覧ください。

計画案の閲覧・意見募集期間：2月15日（土）～3月6日（木）

閲覧場所：市役所本庁舎3階 市政資料コーナー、各地区行政センター、各福祉センター（ただし、閉庁時間、閉館日は閲覧できません。）

※市ホームページでも閲覧できます。意見の提出方法は市ホームページ、各閲覧場所でご確認ください。

※公共交通ニュースは市ホームページ及び
各地区行政センター、各福祉センターでご覧
いただけます。

飯能市役所市民生活部交通政策担当

バスをご利用する方へ「バスの乗り方」を説明します。

通勤・通学で使うバスは、毎日の生活に欠かせません。その欠かせないバスを維持していくためには、多くのみなさまに利用していただくことが求められます。

まずは、バスに乗ってみましょう！

◆バス停

バス停には、バスの来る時間を書いた「時刻表」があります。乗りたいバスがいつ来るか、確かめて乗りましょう。

◆バスに乗る

バスの前と横には 番号と行き先が書いてあります。
確かめてから、乗りましょう。

飯能市内のバスは後ろのドアから乗って「整理券」
をとります。バスモ・スイカの人は I C カード読み
取り機にタッチします。

※イーグルバスではバスモ・スイカは使えません。

◆バスを降りる

降りるバス停がアナウンスされたら、「とまります」ボタンを押します。
危ないので、バスが止まってドアが開くまでは絶対に歩かないようにしま
しょう。飯能市内のバスは、前のドアから降り、降りる時に お金を払
います。バスの一番前にある料金表に値段が出るので、整理券の数字で確
かめてください。バスモ・スイカの人は I C カード読み取り機にタッチして
降ります。

※現金でご利用の方は小銭をご用意ください。バス車内では、千円札の両替はできますがそれ以外の
高額紙幣はお取扱いできませんのでご注意ください。

おとなとこども	
おとな	… 12歳（中学生）以上
こども	… 6歳以上12歳未満（小学生）
幼児	… 1歳以上6歳未満（未就学児）
乳児	… 1歳未満

※「こども」運賃は「おとな」運賃の半額です。

（5円の端数は切り上げます）

※「おとな」または「こども」1人につき、同伴する 幼児2人ま
で無賃です。3人目からはこどもと同じ運賃となります。
「乳児」は無賃です。



国際興業バス彩京のびのびバスの発売

国際興業バスでは、65歳以上の方が国際興業バス全線乗り放題となる彩京のびのびバスを3月16日（日）から販売しています。

彩京のびのびバスは、19,990円で平成26年4月1日から平成26年9月30日までの半年間、国際興業バスの全路線（※高速バス等一部の路線を除く）が乗り放題になる便利な定期券です。

例えば、300円区間を月12回（6往復）利用されると、1乗車あたりの運賃は277円になり、このバスのほうがお得になります。（多く乗車されるごとにお得になります。）

お買い物・通院・お出かけにご利用ください。

お問い合わせ：国際興業バス飯能営業所（973-1161）

公共交通ニュース vol. 16 2014. 4. 23

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

ちょっとだけ“くるま”の使い方を考えてみませんか？

“くるま”利用と「健康」

くるまではずっと座っていられます。だからこそ、楽で便利です。

10kmの移動に伴う消費カロリーは車では約34キロカロリー、バスと徒歩では約99キロカロリーとなります。

公共交通を利用するだけでも消費するカロリーが増えます。



“くるま”利用と「交通渋滞」

くるまの移動は、時刻表を気にすることなく自分の都合に合わせて便利に移動できます。

でも、みんながくるまを使うと朝夕の通勤・通学の時間帯には交通渋滞が発生し、目的の時間までに到着できないこともあります。

一人でも多くの方が公共交通を利用することで、交通渋滞は解消できます。

“くるま”と「費用」

バスや電車は、利用するためには運賃を支払うので割高なイメージがあります。特に市街地から離れた地区では、ガソリン代や駐車場料金と比較するとバス運賃の方が高く思われています。

でも、くるまにはガソリン代や駐車料金だけでなく、保険代、税金、車検代、整備費用など維持していくために様々な経費がかかっています。

「健康」、「交通渋滞」、「費用」だけでなく、くるまでの移動は「交通事故」において自らが加害者になるというリスクを常に背負っています。くるまの使い方を考えいただき、公共交通を効果的に上手に利用してください。

公共交通の運賃が改定されました。

何年も改定をしていなかったバス・電車の運賃が平成26年4月1日の消費税率の引き上げに伴い、ご利用される方々にお支払いいただく「運賃」に消費税率引き上げ相当分を適正に転嫁させていただくため、運賃が改定されました。

現金で支払いの場合は、10円単位、全額をICカードで支払う場合は1円単位でのお支払いとなります。支払い方法によって運賃が異なりますのでご注意ください。

バスモ、スイカなどのICカードを使ってバスを利用することは、運賃が1円単位になるだけでなく、小銭を持たなくてすむ、1,000円利用ごとに100円のバス特チケットが付与される、など大変お得で便利です。ICカードはバス営業所や駅で販売しています。



DIAプラン シニアパスを発行します。

所沢市、飯能市、狭山市、入間市の4市で構成するダイアプランと西武鉄道(株)ではシニアの方の外出機会の創出等を目的として、65歳以上の方を対象に5月16日～6月15日の1か月間を有効期間として4市を起終点とするバスや電車が乗り放題となるシニアパスを社会実験として販売します。詳しくは西武鉄道HPをご覧ください。

※公共交通ニュースは地区行政センター及び
市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当

公共交通ニュース vol. 17 2014.5.26

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

1年間「飯能ワンコインゾーン」を実施しています。

国際興業バスでは、飯能駅から近距離区間のエリアで、現金・ICカードとともに大人100円、こども(小学生)10円でご利用いただける「飯能ワンコインゾーン」を5月16日(金)から1年間の実証実験をしています。

この「飯能ワンコインゾーン」は、湯の沢・名郷・名栗車庫・上赤沢・中沢・中藤の各路線、間野黒指線、西武飯能日高線は飯能駅～飯能河原の区間、こまニュータウン・埼玉医大の路線は飯能駅～飯能高校の区間、新光・市営住宅の路線は飯能駅～市役所前の区間です。

この区間には、市役所、スーパー、高校、飯能河原、医療機関などがあります。飯能駅から東飯能駅の区間も「ワンコインゾーン」です。ヤマノススメの聖地もこのゾーン周辺に点在しています。飯能駅と東飯能駅の移動に、また雨の日やたくさんお買物をしたとき、お子さんの安全確保や通院など、「飯能ワンコインゾーン」をご利用ください。

多くの方々に利用していただくことが、「飯能ワンコインゾーン」の継続につながります。

また、「飯能ワンコインゾーン」の実証実験と併せて、旧市立図書館前のバス停名称「市立図書館」を昨年放送された「アド街ック天国」でも1位に選ばれました「飯能河原」に変更しました。



「ヤマノススメバス」2号車、3号車が登場しました。

アニメ「ヤマノススメ」は飯能市を舞台に、少女たちが登山を通して友情を深め、互いに成長していく姿を描いた物語です。

昨年1月から3月に放送された第1弾では、「天覧山」や「飯能河原」が登場し、また、原作では「棒ノ嶺」や「さわらびの湯」が登場しています。好評につき、第2弾が7月から放送されることに合せ、「ヤマノススメバス」2号車、3号車が登場しました。

昨年8月から運行を始めた1号車は車体に主人公たちを描き、車内に原画を展示しています。

2号車は白を主体とした車体カラーにヤマノススメのシンボルマークである、くつのマークをあしらい、原作者描き下ろしのキャラクターたちが飯能市の風景を散策しています。

3号車は、車体左側に青空、右側に星空をイメージし、キャラクターたちが作品のさわやかさや楽しさを再現しています。

また2号車、3号車は、車内天井や座席シート、精算機などにキャラクターが登場するなど「見て楽しい、乗って楽しい」バスになっています。

「ヤマノススメバス」を見るだけでなく、ぜひ乗って楽しんでください。

運行ダイヤは国際興業ホームページで公開しています。



1号車



2号車



3号車



2、3号車 天井

※公共交通ニュースは地区行政センター及び市ホームページでご覧いただけます。

飯能市役所企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして” ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

路線バスの事業状況について

路線バスを運行するためには、バス車両も重要ですが、燃料がなければ走ることはできません。そして、バスを運転する乗務員が必ず必要です。

路線バスの乗務員になるためには、第二種大型自動車運転免許が必要で、この免許は自動車運転免許の中ではいわば最高峰であり、取得するには、相当の技能が求められます。

バスのリアウインドに「乗務員募集」のステッカーを見たことはありませんか？バスの利用者が多く、輸送力が強化されていた1970年代に入社された方々が現在定年期を迎え、現場を去っています。また、他産業と比べて、もともと長い労働時間と経営改善によるコスト縮減などにより、労働環境は大変厳しく、慢性的な人手不足状態にあります。



事業者にとっても乗務員の確保は事業運営のために最も重要なことから、バス乗務員になるための「養成制度」を設けている事業者もあります。

バスの増便やルートの新設を求める声があります。採算のとれそうな路線の増便や新設であっても、バスを運転する人がいないと、利用者のみなさまの声に応えることができないという現状があります。

また、燃料費も毎月のように値上がりしている状況です。消費税率の引き上げにより今年の4月に平成8年以来の運賃改定をしました。しかしながら、燃料費高騰などを理由にした運賃改定はしていません。

厳しい、事業状況をご理解いただき、路線バスを維持していくため、バスをご利用ください。

イベント情報～路線バスをご利用ください～

○名栗ホタル観賞の集い：国際興業バス「さわらびの湯」又は「河又名栗湖入口」

名栗の夏の風物詩のひとつになりました「名栗ホタル観賞の集い」（主催：飯能市観光協会名栗支部）が7月5日（土）（19時30分～21時）にお休み処「やませみ」周辺で開催されます。

ご家族、友人とともにお気軽にご参加ください。

今年は、イベント終了時に合せて国際興業バスで臨時バスを運行します。駐車場には限りがあります。ぜひバスをご利用ください。

▶会場まで（飯能駅北口発）

17:15、17:43、18:05、18:37（河又名栗湖入口バス停下車）

▶飯能駅方面（河又名栗湖入口バス停）

19:30、20:19、21:00



○第4回名郷味市（なごみいち）：国際興業バス「名郷バス停」

今年は、ふるさと会館（名郷バス停下車徒歩2分）を会場に7月6日（日）（9時～14時）に名郷味市（なごみいち）が開催されます。ドラム缶ピザ、地元の皆さんによる模擬店、名栗の歴史を紹介するイベントなど盛りだくさんです。当日は第10回なぐりの里ウォークのほか「じゃがいも収穫祭」を開催します。名栗で採れた美味しいじゃがいもをご賞味ください。

▶会場まで（飯能駅北口発）

8:00、8:30、8:55、9:20、9:54、10:48、11:45、12:45

▶飯能駅方面（名郷発）

9:35、10:02、10:34、11:08、12:03、13:03、14:03、15:03

※公共交通ニュースは地区行政センター及び
市ホームページをご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”

～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

ヤマノススメ セカンドシーズンはじめました。

人気イラストレーター・しろが描く、飯能市を舞台にした“女の子だけのゆるふわアウトドア”TVアニメ「ヤマノススメ セカンドシーズン」がスタートしました。この「ヤマノススメ」は、女の子たちが登山を通して友情を深め、互いに成長していく姿を描いた物語です。

今回は、15分番組として、6か月間全24話放送されます。

第1回、第2回放送では、国際興業バスや飯能市のゆるきやら「むーま」くんが登場しました。

東飯能駅やまるひろ、そして「ひがはん」など地元ならでは会話も登場しました。



また、セカンドシーズン放送開始前にメインキャスト4人が見どころを紹介した特別番組では、本市のヤマノススメラッピングバスや第1弾で描かれた本市の風景なども紹介されました。

「ヤマノススメ」は毎週水曜日午後10時から東京MXで放映しています。

第1回放送を見逃しても、まだまだ楽しめます。そのほかBS11で、毎週水曜日深夜3時から放映しています。

飯能市内の風景や施設、また、路線バスが登場するのではと「ワクワク」しながらご覧ください。

市内では、ヤマノススメラッピングバスが3台運行しています。アニメとともに“見て楽しい、乗って楽しい”ラッピングバスをご利用いただき、ヤマノススメ聖地巡礼はいかがでしょうか。



ヤマノススメバスと車内(車内もラッピングしています！)

バス路線のできるまで①

新しい道路ができ、その道路に路線バスを走らせるしたらどんな手順が必要と思いますか？

バス路線を新設するためには、道路管理者や警察などの関係機関との調整を行い、国土交通省への申請を行って、許可を受けることになります。

この関係機関との調整以上に重要なのが、どれだけの利用者が見込めて採算がとれるかという需要予測・収支予測です。路線バスは、基本的に家が多くある、利用者が見込める道路を運行しています。大規模開発地を除いて新しい道路は、昔からの道路と比べて、家はどうしても少なくなります。

バス停についても、道路交通法で設置できない場所が定められています。また、設置する場所の所有者や立てる位置の前や隣の方の合意がないと設置することは当然できません。かつては、バス停があると「便利になる」と歓迎されましたが、今はどちらかというと「汚される、のぞかれる、騒がれる」と迷惑施設並みになっています。バス停以外にも車内アナウンスや料金表示機の変更が必要となります。新しい道路ができたからバスを走らせるということは、走らせるだけなので、簡単にできそうに思えますが、いろいろな手続や調査、調整が必要なのです。

“暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして”
～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

9月20日は“バスの日”です。

みなさん、「バスの日」をご存知ですか？

京都市の二井商会が、市内の堀川中立売～七条・祇園間で1903年(明治36年)の9月20日に蒸気自動車を改良した乗合自動車の運行を開始しました。正確に言うと、はじめて乗合自動車の事業免許を正式に取得し、定期バスを運行したのが、この日ということになっています。

その後、1987年(昭和62年)10月の全国バス事業者大会で日本ではじめてバスが走った日である9月20日をその記念日として、「いつでも、どこでも、みんなのバス」をテーマに「バスの日」と定められました。

公益社団法人日本バス協会では、「バスの日」に向けて「バスフェスタ2014」を開催します。「バスフェスタ」はバスが安全・安心で、環境にやさしい乗物であり、また、暮らしに便利であるということを、特に将来の利用者となる子どもたちに理解をしていただくために、平成21年から毎年開催されています。

「バスフェスタ2014」では、小学生以下の子どもたちから、バスの車体外観のデザインとなる絵を募集する「バスのデザインコンテスト」と10月4日(土)には、代々木公園・ケヤキ並木でバスと身近に触れ合えるイベント「バスフェスタ2014 in TOKYO」を開催します。

詳しくは、公益社団法人日本バス協会のホームページをご覧ください。

「バスの日」を機会に、バスをご利用いただき、バスの「素晴らしさ」を体感してみてはいかがですか？



《飯能市内を運行する乗合バス》

バス路線のできるまで②

新しい道路に路線バスを走らせるということは、ただ地図の道路上に「線を引き、道路を走らせる」という簡単なものではなく、運行を予定する道路の管理者や警察といった関係機関との調整、バス停を設置するための調整や手続が必要であることを前回書きました。

今回はダイヤ（時刻表）についてです。関係機関との調整をし、運行ルートを決めてダイヤが決まらなければ、走らせるための手續はできません。ダイヤの作成は、バス停留所間の距離、そのバス系統の所要時分、調整時分、折返し地点での最大時分などを入れ込みダイヤを組みます。可能であれば、試走をすることもあります。

運行時分については、全区間制限速度内で走り、全バス停留所を停車することを前提として組まれています。時刻表よりも早く出発してしまうことを防ぐため、早め早めの時刻設定としている場合が多いです（時刻表よりも早くくなってしまうときは、停車時間を長くするなど時間調整をすることもあります）。

運行ルートの検討や調整、関係機関との協議、バス停留場所の調整、運行ダイヤ・運賃の設定など条件が整い、国土交通省への許可申請という手續になります。そして国土交通省の許可が下りて、バス路線が正式にでき、運行を開始することができるようになります。

※公共交通ニュースは地区行政センター及び
市ホームページでご覧いただけます。

飯能市企画総務部企画調整課
総合政策・交通政策担当